

勧告7、勧告8関係

『知床世界自然遺産地域におけるサケ科魚類遡上効果確認調査報告書』（概要）

北海道

1 調査概要

知床世界自然遺産地域科学委員会河川工作物 WG において改良が適当と判断された 13 基のダムの河川工作物について、その設置者が順次改良。改良効果の確認のため、サケが魚類の遡上効果をモニタリング調査。

2 モニタリングについて

- (1) モニタリング期間：1 工作物につき 改良当年（改良前）、改良後 3 年間
- (2) 調査内容：サケ科魚類の遡上匹数及び産卵床数
- (3) 推定遡上数の算出方法：産卵床数×2（新魚の性比を 1 対 1 との仮定により）

3 各河川の工作物改良状況及び遡上効果

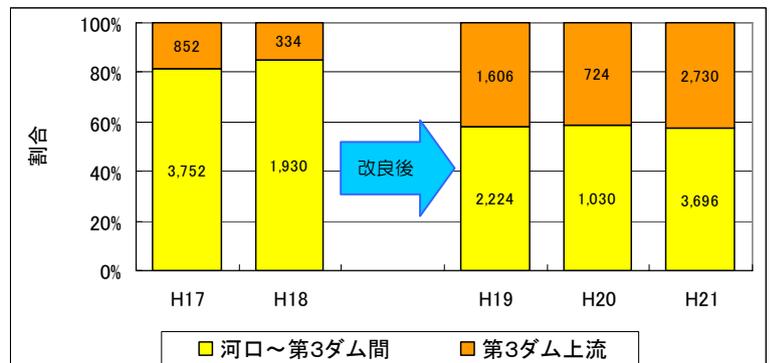
【ルシャ川】

● 改良状況

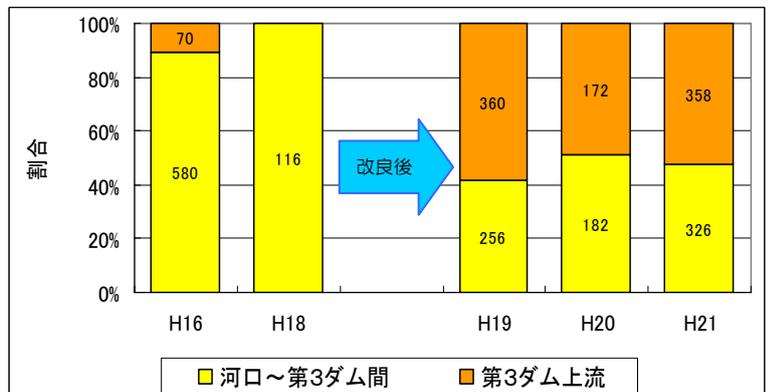
工作物	改良年度	改良方法
床固工	H18 年度	切り下げ・切り欠き設置
床固工	H18 年度	切り下げ・切り欠き設置



● モニタリング結果（推定遡上数の変化）カラフトマス



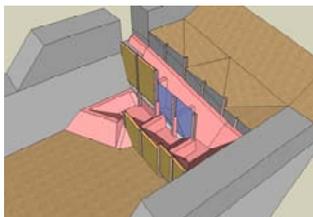
シロザケ



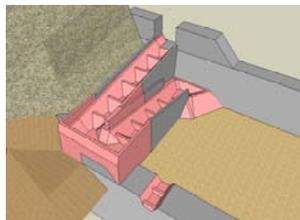
【サシルイ川】

● 改良状況

工作物	改良年度	改良方法
床固工	H19 年度	No.1 魚道改良
床固工	H19 年度	No.2 魚道改良

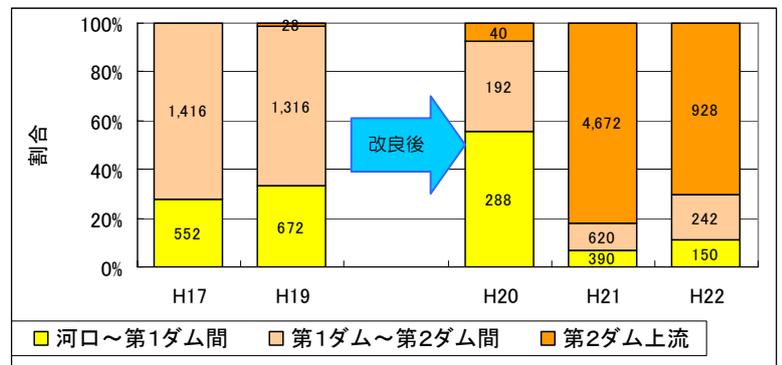


No.1

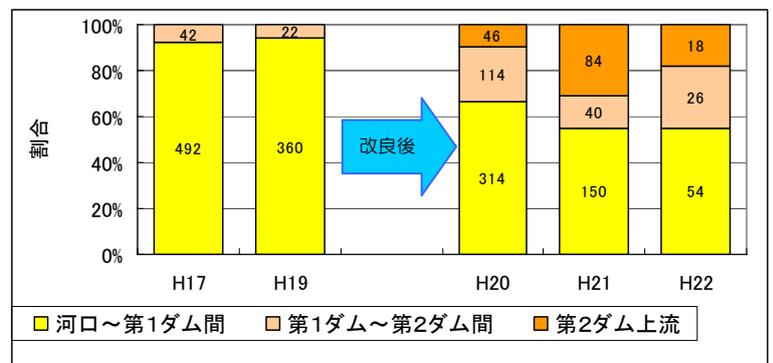


No.2

● モニタリング結果（推定遡上数の変化） カラフトマス



シロザケ



【チエンベツ川】

● 改良状況

工作物	改良年度	改良方法
谷止工	H20 年度	魚道改良
床固工	H21 年度	魚道改良

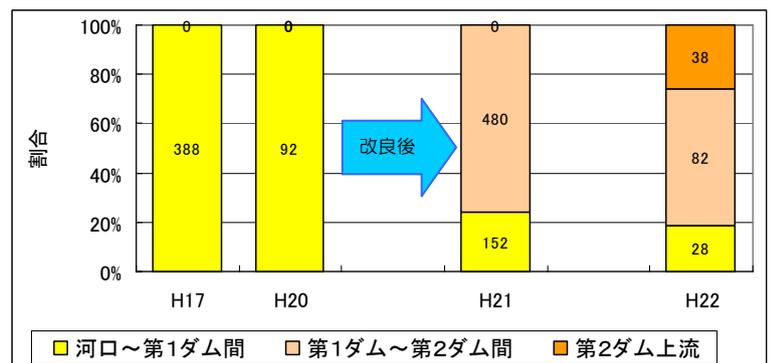


谷止工



床固工

● モニタリング結果（推定遡上数の変化） カラフトマス



シロザケ

